

大学入学資格検定及び新試験の就職等への利活用を図るためのアクションプランの実施について

背景

大学入学資格検定（以下「大検」という。）は、高等学校卒業程度の学力を認定する唯一の試験という性格から、近年、各種職業資格の受験資格や採用においても高等学校卒業と同等に扱われつつあるが、いまだ不十分。

趣旨

大検及び新試験の合格者が採用試験や採用後の処遇において、高等学校の卒業者と同等に扱われるように、総務省、厚生労働省、経済団体等と連携し、地方自治体や民間企業等への周知等に係る行動計画を策定し実施。

実施内容

総務省との連携

都道府県、市町村への周知
 総務省の主催する各種会議での説明
 地方自治体の採用における「大学入学資格検定の合格者の取り扱い状況について」調査

厚生労働省との連携

都道府県にある労働局（公共職業安定所を含む）等への周知
 厚生労働省の主催する各種会議での説明

経済団体との連携

経済団体等を通じ、関係企業等への周知。
 関係団体等の主催する各種会議での説明。

【対象団体】

(社)日本経済団体連合会、(社)青年会議所、(社)経済同友会、日本商工会議所、全国中小企業団体中央会、日本労働組合総連合会

教育委員会との連携

都道府県教育委員会、市町村教育委員会に周知。
 教育委員会や高等学校に対して大検や新試験についての相談窓口の設置を奨励。

広報

パンフレットの作成及び配布
 政府広報、ホームページ、新聞等での広報

実施期間

平成16年4月1日～平成17年3月31日